

導入製品

■高性能ステレオIPオーディオ・
コーデック
GateWay



ノイホフ・メディア、GateWayで複数市場を統合

Tieline[®]

The Codec Company

■ Tieline社

1981年に設立されたTieline社は、オーストラリアと北米にオフィスを構え、南北アメリカ、ヨーロッパ、イギリス、アフリカ、アジア、中東、オーストラリア、マレーシアにまたがるグローバルな販売ネットワークを展開しています。

■ 事業内容

コーデック技術の開発に42年以上携わり、さまざまな用途や価格帯に対応する幅広いコーデック製品を開発・設計・販売しています。

<https://tieline.com>

ケリー・コーリーはアメリカ ノイホフ・メディアのITディレクター/契約エンジニアで、ラジオとテレビ設備における多様な技術の経歴を持ち、IT分野での経験も豊富です。

ケリーは最近、3つの市場と12の放送局をイリノイ州スプリングフィールドの1つのバックエンド施設に統合し、業務を合理化しました。

スプリングフィールドに4局、ディケーターに5局、ブルーントンに3局を持つノイホフ・メディアのために新しい集中ネットワーク・オペレーションを設計しました。これらの市場はイリノイ州中央部のほとんどをカバーしています。

Tieline Gatewayコーデック、Nexgenオートメーション、Wheatstone AoIPがセットアップの不可欠なコンポーネントです。

ゲートウェイの設定

AoIPネットワークとのインターフェイスとして、スタジオ用にWheatNet-IPカード付きのTielineのGateway 16チャンネル・コーデックを購入しました。その主な目的は、STLに直接、あるいは遠隔地の送信所で処理するために、2つの市場に音声フィードを提供することです。

また、ディケーターにある送信所のひとつにゲートウェイ8チャンネル・コーデックを設置し、さまざまなRF STLフィードを他

の送信所に送っています。

各サイトのバックアップBridge-ITユニットは、メインサイトがダウンした場合の障害回避を提供します。

Gatewayコーデックの高いチャンネル密度は、ラック・スペースの節約に役立ち、WheatNet AoIPネットワークに直接統合できることも、使用するコーデックを決定する要因になりました。コーデックから直接WheatNetにルーティングできることで、スタジオの接続やルーティングがより効率的になります。

WheatNet-IPインターフェイスカードを搭載したGenie Distributionコーデックは、コーデックまたはReport-ITアプリ接続からのリモート/スポーツ受信フィード用に再利用されました。これは、各市場の老朽化したG3ユニットの一部を置き換えるものです。

インストールとネットワーク設計のほとんどを私が担当し、コーデックの統合はかなり簡単でした。全体的に、Tielineコーデックとシステムの性能と信頼性には満足しています。

サイトの接続

私たちのスタジオでは、Wheatnet AoIPをリモート・スタジオに送るために、コムキャストのEDIファイバーと各マーケットへのセカンダリー-EPL接続を使用しています。トランスミッターサイトへのフィードには、DSLとワイヤレスが、ブルーミントンのマーケットと、ディケーターいくつかのサイトで、コムキャストのビジネスHFC接続とともに使われています。いくつかの送信所サイトではインターネット接続が問題になることがありますが、最近、送信所サイトへの主要接続としてブルーミントン市場にAirFiberリンクを追加し、バックアップとしてTielineコーデックを追加しました。

当社のファイバー接続は、HFC接続と同様に非常に安定しています。DSLと無線は少し大雑把なところがあるので、私たちはゲートウェイとSTLをメインタワーの1つから直接フィードし、バックアップのLTEと堅牢なIP接続を選びました。距離や障害物に制限されるRF STLシステムに比べ、IPは必要な場所に音声を送れる柔軟性があります。このプロジェクトでは、この2つの技術を組み合わせて、パスの信頼性を可能な限り高めています。それがなければ、このプロジェクトは実現しなかったでしょう。

私は通常、AAC-LD 44k/256kbpsを自動ジッターバッファリングで使用しています。最も信頼性が高く、遅延が少ないように思います。バッファアンダーランを起こさずに、フィードの遅延を最小限に抑えたいのです。

TielineのToolbox Web-GUIは、コーデックの設定や制御に最適です。ファームウェアのアップデートにも便利です。すべてのフィードは、セキュリティのためにサイト間VPNを介してネットワーク内にあるので、外部に公開されることはありません。クラウド・コーデック・コントローラーも使っていますが、まだすべてのサイトでセットアップしていません。ブラウザのリンクをいくつも開く代わりに、1つのソフトウェアで複数のコーデックを管理できるのはありがたい。



パンデミックの振り返り

私は自宅のスタジオからリモートで仕事をしているので、パンデミックの影響はなかった。ワークステーションには、必要に応じてスタッフがリモートでアクセスできます。これはおそらく最も重要なことでしょう。AoIPを使えば、数回のクリックでルーティングできるので簡単です。

TielineのToolbox Web-GUI、クラウド・コーデック・コントローラー、ライブ・ストリーミング用のReport-IT Enterpriseアプリも、リモートで作業や放送をしなければならない私やスタッフにとって役に立ちました。

パンデミックが影響したのは、このプロジェクトに必要な機材や部品の調達だった。

「担当者の声」

“

ゲートウェイ・コーデックの高いチャンネル密度は、ラック・スペースの節約に役立ち、WheatNet AoIPネットワークに直接統合できることも、どのコーデックを使うかを決める一因となりました。

ケリー・コーリー

イノホフ・メディア ITディレクター/契約エンジニア